



1 年	9 1 名	3 学級
2 年	9 8 名	3 学級
3 年	1 0 6 名	3 学級
4 組	3 名	1 学級
5 組	1 名	1 学級
合計	2 9 9 名	11 学級

品格ある行い — 向日葵に想う —

校長

暑さの訪れとともに、校長室前で向日葵（ヒマワリ）の花が咲き始めました。先日の強風雨のため、折れてしまったものも、折れて地面についた茎の部分から新たに根を張り、今にも花を咲かせようとしています。

私は、本校の生徒・職員に「品格」を求めています。では、「品格」とは何か。「学校だより 4 月号」に私の考えを抽象的に述べていますが、「抽象」とどめず「行い」にまで具体化することが大切だと考えています。



そこで朝会や行事などの際に、できる限り具体的な姿や形を取り上げて話し行動を促しています。

次の文章をお読みください。私が話すより、本校生徒の実際の行為を共有することが「品格ある学校」づくりにより効果があると考え、教頭をお願いして文章化してもらったものです。

ある雨の日の放課後

ある雨の日の放課後、いつものように職員室で執務をしていると一本の電話がありました。（生徒が下校している時間帯の電話は、地域からの苦情が多いものです。）少し憂鬱な気持で電話をとると、この日の電話はいつものものとは異なりました。

「西中の男子生徒が下校途中に、目の見えない方のお世話をしてくれました。私はその子の近所に住んでいる者で、その子をよく知っているのですが、その子はその目の見えない方を踏切（かなり離れている）から自宅付近まで送り、『危ないので送ってきましたが、この後、出かける用事が入っているので…』と、私にバトンタッチしました。私はその方の自宅まで送りましたが、途中、つまずいたり、転びそうになったりで大変でした。雨の中、もし、その子がその目の見えない方のお世話をしなかったら、怪我をしたり、車にひかれたりしていたかも知れません。素晴らしい行いです。朝礼等で是非、話してあげて欲しいと思います。」

この方は、このような善行は、是非、多くの人に知らせ、善行で溢れる地域を作っていただきたいと願っておられました。

後日、私は、朝の職員打合せでこの内容を話し、生徒に紹介するようお願いしましたが、地域の方にも是非、知っていただきたいと本号に掲載させていただきました。

何事にも、短時間での能率と成果をあげることが望まれる昨今、人間にとって、そのようなことよりも尊く正しい行いがあることに気づかせてくれた心温まる地域からの連絡でした。

この生徒の行いは、この生徒にとっては当たり前のことだったのでしょうか。しかし、そうなるまでには、繰り返し考え、判断し、実践してきたことがあったはずです。それは、まさに私が求める「品格」ある行いです。わざわざ情報をお寄せいただいた方をはじめ、地域の皆様と共により良い学校を目指していきたいと思えます。

ヒマワリの花言葉に、「情熱」があります。この後学校では、修学旅行、夏休みの諸活動、運動会など、暑さが増すとともに一層熱がこもった教育活動に取り組んでいきます。最も「黒西中らしい」時期とも言えます。風雨に折れて倒れても、再び根を張り、上を見て咲く向日葵のような気高さを持って邁進していきましょう。